

# 教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価報告書について (令和2年度分)

長野市教育委員会

## 点検・評価の概要

|            |   |
|------------|---|
| 点検・評価の根拠   | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第26条  |
| 点検・評価の目的   | <ul style="list-style-type: none"><li>① 教育委員会は、毎年事務事業の取組状況について点検・評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進を図る。</li><li>② 点検・評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会へ提出するとともに、公表することにより市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政の推進を図る。</li></ul>                 |
| 点検・評価の実施方法 | <ul style="list-style-type: none"><li>① 第二次長野市教育振興基本計画の施策の体系に基づき、関係部局とも連携しながら点検・評価を行い、課題や今後の取組の方向性を明らかにする。</li><li>② 学識経験を有する者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検・評価を行う。</li><li>③ 結果を取りまとめた報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページにおいて市民に公表する。</li></ul> |

# 報告書の構成

1 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要（P1）

2 事務局・教育機関の所属ごとの主な事業の概要と評価（P2～12）

3 施策別の事務の点検・評価と今後の方向性（P14～57）

基本的方向1 次世代を担う子どもたちの「生きる力」の育成

- 1-1 子どもたちの「生きる力」を育成する教職員の力量の向上
- 1-2 乳幼児期からの段階に応じた教育の充実
- 1-3 安心・安全な教育環境の整備
- 1-4 一人一人を大切にする教育の推進

基本的方向2 地域に支えられ、親と子が共に学び育ち合う環境の充実

- 2-1 家庭・地域・学校の連携・協働による教育力の向上
- 2-2 地域が子どもの育ちを支える環境の充実

基本的方向3 生きがいを求め、社会に参画する力を高める学びの機会の充実

- 3-1 学びの機会を支える生涯学習環境の充実
- 3-2 豊かな生活につながる生涯学習の推進

基本的方向4 多彩な文化・スポーツ遺産を継承・創造し、全ての市民が享受できる文化力の向上

- 4-1 多彩な資源を生かした文化芸術・スポーツ創造環境の構築
- 4-2 国際交流・多文化共生の推進

4 前年度までの学識経験者の意見に対する取組（P58～60）

5 今年度の学識経験者の意見（P61～62）

## 成果のあった主な取組 ①

| 取組名             | 実施状況   | 評 価   |
|-----------------|--|---|
| 教職員の研修          | ICT活用能力の向上、通常学級での特別支援教育の充実等、学校での各種課題に応じた研修講座を重点講座や指定研修としたほか、最新の教育政策及び新学習指導要領に対応した講座を新設・改変するとともに専門性の高い講師を招聘し、充実した講座を構築した。 | すべての学校で課題の共有と課題克服への意識づけができた。コロナ禍のため、大学教授等を招聘しての講座はオンラインでの講義が中心となったが、受講者からは高評価を得ることができた。                         |
| 小・中学校クール化プロジェクト | 整備方針に基づき、普通教室にエアコンが未整備の学校への整備を進めた。   | 令和元年度末時点で普通教室等へのエアコンが未整備であった18校のうち11校へ整備が完了した。残り7校についても「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、普通教室1室へのエアコン整備を実施することができた。 |
| 活力ある学校づくり       | 「活力ある学校づくり検討委員会」からの審議のまとめ(答申)について、全小学校区での保護者等との対話及び周知を進めた。   | 小学校全60学校区において、保護者との対話及び資料配布による周知及び意見収集を終了することができた。そのうち、信更中学校において、学校の方向性がまとまった。                                  |

## 成果のあった主な取組 ②

| 取組名                     | 実施状況   | 評 価  |
|-------------------------|--|--|
| GIGAスクール構想の推進           | 新型コロナウイルス感染症の拡大等による学校の臨時休業等においても、児童生徒の学びを保障するため、GIGAスクール構想の早期実現を目指した。児童生徒一人一台端末配備による学びの実現のため、教職員の指導力向上を図るための研修等の実施や支援を行った。 | 一人一台端末の配備は、計画を前倒し、令和3年8月末の完了予定である。情報主任会において、専門講師による研修会を実施し、学習用ソフトや端末の機能・使い方等、各校の実情に応じた研修ができる体制を整えることができた。校長会等においても、端末に係る情報を周知する等、本格的な活用に向けて準備を進めることができた。 |
| アレルギー対応食の提供             | 第一学校給食センターにおいて、10月からアレルギー対応専用調理室を活用したアレルギー対応食の提供を開始した。   | 食物アレルギー対応基本方針等に基づき、アレルギー対応食をすべての給食センターから事故等なく提供することができた。   |
| 旧文武学校保存整備事業<br>真田宝物館特別展 | 令和元年度に引き続き、旧文武学校の展示設備の整備に取り組むとともに、報告書の作成、剣術所の柵設置工事や史跡協会の復元測量などの付帯工事を実施した。また、真田宝物館では旧文武学校のリニューアルを記念し、特別展「松代藩文武学校」を実施した。     | 「見て、触れて、楽しく学べる藩校」をコンセプトとした旧文武学校における展示設備の整備が完了し、10月にリニューアルオープンすることができた。真田宝物館の特別展「松代藩文武学校」では復元の元となった古文書や絵図等を展示し、会期中9,000人の入館者があった。                         |

## 主な課題と今年度の取組 ①

| 取組名                 | 現況と課題  | 今年度の重点的な取組  |
|---------------------|--|---|
| GIGAスクール構想の推進       | <p>1人1台端末の配備完了により、すべての児童生徒が適切かつ効果的な学習成果を得られるよう、ICTを効果的に活用していく必要がある。</p> <p>ICTの環境整備について、ネットワークの高速化の確実な実現を目指していくことが必要である。</p> | <p>効果的にICTを活用できる子どもを育成するために、情報主任会を中心に教職員研修を実施するとともに、学校の要請に応じて指導主事が学校へ訪問し、学習支援ソフトの活用、情報活用能力や情報モラル教育の更なる推進を図る。</p>          |
| NRTを活かした指導改善サイクルの構築 | <p>小学校では、標準学力検査(NRT)の分析に基づいた授業改善サイクルが構築されてきているが、中学校でも授業改善サイクルがより効果的なものとなるよう、重点を決め出し、支援していく必要がある。</p>                         | <p>第三期しなのきプランに基づき、標準学力検査(NRT)や全国学力・学習状況調査等の分析をもとに指導改善に向けた具体的なアクションを起こせるよう、各校の研究主任を対象に研修会を開催し、自学自習の資質能力を育むための指導の構築を図る。</p> |
| 小・中学校校舎の長寿命化計画      | <p>学校施設は築30年以上の建物が全体の67%を占めており、老朽化が進んでいる。建物の長寿命化を図り、改築費用を低減するとともに、豊かな教育環境の整備を進める必要がある。</p>                                   | <p>令和3年2月に策定した長寿命化計画に沿った施設改修実施に向け、長寿命化予算の規模に応じた学校の選別、改修年次、改修内容の精査等の検討を進める。</p>  |

## 主な課題と今年度の取組 ②

| 取組名               | 現況と課題   | 今年度の重点的な取組  |
|-------------------|---|---|
| 心の教育推進            | <p>年々、不登校児童生徒の数値が増加傾向にある。特に、小学校の高学年から中学校2年生までが増加の割合が高くなっている。</p> <p>学校復帰を主目的とせず、学校以外の居場所での活動を認め、社会的自立に向けた様々な生活や学習場所の保障や支援を行っていく必要がある。</p> | <p>不登校の未然防止と早期対応を目的としたスクリーニング会議や支援会議の実施を定着させることで、学校全体で児童生徒の情報を共有し、適切な支援を行えるようにする。</p> <p>学校以外を居場所とする学習支援の方法の一つとして、タブレットやICT等を活用した学習支援を推進していく。</p> |
| 長沼交流センターと豊野公民館の復興 | <p>長沼交流センターは、地元の意向を受け、長沼地区河川防災ステーション上に、支所との複合施設として整備、豊野公民館は防災拠点機能を加え沖団地跡地に建設することに決定した。</p>  | <p>長沼交流センターは、施設内容について引き続き住民と協議を行う。豊野公民館は、「(仮称)豊野防災交流センター」としてプロポーザル方式により事業者を選定し、基本設計に着手する。</p>   |
| 松代城跡保存整備事業        | <p>史跡周辺における市道や駐車場等の整備など関係事業を並行して進める必要があることから、庁内関係課及び地区との調整協議を進めている。</p>   | <p>第2期整備計画に基づく調査や保存整備を着実に進めると共に、史跡周辺における市道・駐車場等の環境整備事業を進めるため、庁内関係課並びに地区との協議調整を行う。</p>   |

## 学識経験者の意見

- 点検・評価報告書に対し学識経験者からいただいた意見を記載した。
- 今年度の事業の実施に当たり可能なものはすぐに取り組み、それ以外は来年度以降の事業に生かすべく、今後検討する。

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| 全体意見                           | 2件  |
| 施策別の今後の方向性に関する意見               | 8件  |
| 1-1 子どもたちの「生きる力」を育成する教職員の力量の向上 | 2件  |
| 1-2 乳幼児期からの段階に応じた教育の充実         | 2件  |
| 1-4 一人一人を大切にする教育の推進            | 1件  |
| 2-1 家庭・地域・学校の連携・協働による教育力の向上    | 1件  |
| 3-1 学びの機会を支える生涯学習環境の充実         | 1件  |
| 4-2 国際交流・多文化共生の推進              | 1件  |
| 合 計                            | 10件 |